

2023～	質的研究方法論	単位数	履修方法	配当学年
		2単位	SR	1・2年
		担当教員	塩野 悦子	

※この科目は、2023年度以降入学者に対して開講されている科目です。2022年度以前入学者は履修できません。

■授業のテーマ

質的研究方法の基本を学び、研究対応力を磨く

■授業の目的

総合福祉学の専門分野における対象者の理解を深め、より適切な支援方法を探索するために、質的研究方法の基本と実際を理解する。

■授業の到達目標

- ・質的研究方法の特徴を説明できる。
- ・質的研究の主な方法論の特徴と手順の概要を説明できる。
- ・質的研究のプロセスを説明できる。
- ・質的研究のデータ収集と分析方法を説明でき、事例などを用いて実践できる。
- ・質的研究のクリティーク方法と論文のまとめ方について説明できる。

■授業の概要

本講義では質的研究の基礎と実際について教授する。質的研究方法の意義や特徴を量的研究との比較などから学び、質的研究を行うプロセスについて理解する。特に質的研究方法を用いる上で研究の問いが重要であることを学修する。また、質的研究の主な方法論を中心に、理論的基盤やデータ収集ならびに分析方法について理解する。面接法などの主なデータ収集方法、データの分析の演習を通してより理解を深める。これらを通して専門的分野における対象者の理解を深め、自ら研究活動を行う能力を修得する。

■在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(・キーワード)	学びのポイント
1	質的研究方法の特徴	質的研究・量的研究	質的研究の特徴を量的研究との比較などから学ぶ。
2	質的研究の意義 【事前課題①】	社会学的調査・フィールドワーク	文献2)第2章と第3章を読み、質的研究のあり方や意義について考える。
3	質的研究の主な方法論①	各方法の特徴・背景	質的研究方法の種類とその違いを学ぶ。
4	質的研究の主な方法論②	各方法の概要と手順	質的研究の各方法の概要と手順を学ぶ。 (質的記述的研究・内容分析・事例研究グラウンデッドセオリー・エスノグラフィー・現象学的アプローチなど)
5	質的研究の主な方法論③	各方法を用いた文献	質的研究の各方法の特徴を文献より学ぶ。(各方法名で検索してみる)
6	質的研究の問い 【事前課題②】	研究の問い・リサーチエスション	自身のフィールドでの疑問から、質的研究にける「研究の問い」の重要性を学ぶ。
7	質的研究方法のプロセス	研究計画書作成	質的研究の一連のプロセスを学ぶ。
8	データ収集方法	面接法・観察法・インタビューガイドの作成	データ収集方法の種類と概要、インタビューガイドの意義と方法を学ぶ。
9	データ分析方法	コーディング・カテゴリー化	質的研究のデータ分析方法について学ぶ。また、事例より分析の実際を学ぶ。
10	質的研究の評価基準	信頼性・妥当性	質的研究の質を確保する方法を学ぶ。

	学修のテーマ	学修内容(・キーワード)	学びのポイント
11	質的研究における倫理的配慮	倫理的・同意書・説明書	質的研究における倫理的配慮や倫理申請方法を学ぶ。
12	【演習】①面接の実施	面接の練習	身近なテーマを設定し、対象者に実際に面接する。(許可をとって録音)
13	【演習】②データ分析	逐語録作成・コーディング・カテゴリー化	面接後、逐語録を作成し、データ分析を実践する。
14	【演習】③結果の発表	カテゴリー・関連性	データ分析結果を発表する
15	質的研究の読み方・まとめ方	質的研究のクリティーク・論文のまとめ方	質的研究論文のクリティーク方法、論文のまとめ方を学ぶ。

■スクーリング事前課題 (学修時間目安：6～10時間)

- ①文献2) 第2章「はいりこむ」と、第3章「あるものになる」の要約と感想。
- ②現時点での「研究の問い」を3点あげる。
 - ・字数：①②合わせて4,000字程度
 - ・提出期限：オンデマンドスクーリング1週間前まで

■スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	質的研究の特徴	オンデマンド
2	質的研究の方法論(1) グラウンデッドセオリー・内容分析など	オンデマンド
3	質的研究の方法論(2) エスノグラフィー・現象学アプローチなど	オンデマンド
4	質的研究のプロセス(研究の問い、研究計画書作成など)	オンデマンド
5	質的研究のデータ収集方法(面接法・観察法、グループインタビュー)	オンデマンド
6	質的研究の倫理的配慮・質的研究の評価基準	オンデマンド
7	質的研究の分析方法(事例を用いての実践)・演習説明	対面
8	【演習】データ収集の実施(仮テーマ設定・面接の練習・逐語録作成など)	対面
9	【演習】データ分析とまとめ(発表)	対面
10	質的研究の論文のクリティーク・論文のまとめ方	対面

■スクーリング事後課題 (学修時間目安：6～10時間)

- ①質的研究論文を1件選択し、a テーマと選択理由を述べ、b その文献のクリティークをまとめなさい。
- ②自身のフィールドにおいて、質的研究がどのように活かされるか、本科目の学びを含めて、自身の考えをまとめなさい。
 - ・字数：①②合わせて4,000字程度
 - ・提出期限：対面スクーリング終了1週間後まで

■レポート課題

課題1 (事前課題)	①文献2) 第2章と第3章の要約と感想。 ②現時点での「研究の問い」を3点あげる。
課題2 (事後課題)	①質的研究論文(1件) クリティーク ②自身のフィールドにおける質的研究の活かし方

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

課題1 アドバイス

- ①質的研究を学ぶ前の立場から気楽にお読みください。要約は章ごとに簡潔にまとめ、感想はまとめて記載してください。質的研究（社会学的フィールドワーク）のあり方や意義について考える導入の機会となります。
- ②「研究の問い」research question を考える練習です。3つ考えてみてください。主語と述語が含まれる疑問形で表現します。自身のフィールドで気になっていることや修士論文で取り上げたいことなどから考えてみてください。文献1)を参照のこと。

課題2 アドバイス

- ①質的研究方法は、実際の論文を読むことによって、理解が深まります。ぜひ、関心のある質的研究方法を用いた文献を選び、よく読んで、クリティークをしてみましょう。文献の選び方やクリティーク方法は講義で紹介します。
- ②質的研究を学んだことによって何が見えるようになったでしょうか？ そんな視点から、質的研究が自身のフィールドでどのように活かされるかを考えてみてください。

■評価の方法・基準

スクーリング時の参加度60%、課題レポート40%

■参考文献（*印=大学から送付される必読図書）

- *1) グレック美鈴、麻原きよみ、横山美江編著『よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 第2版 看護研究のエキスパートをめざして』医歯薬出版、2016
- *2) 好井裕明著『あたりまえを疑う社会学～質的調査のセンス～』光文社新書、2008
- 3) 中嶋洋著『初学者のための質的研究26の教え』医学書院、2015